

# 平成29年度 財政状況資料集

## 総括表（都道府県）

都道府県名	佐賀県		職員の状況（7）				区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)		歳入総額	歳出総額	実質収支	健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
グループ	D		知事	1	11,900		443,259,819	435,430,115	実質収支比率	1.8		1.5		
人口	27年国調(人)		副知事	2	9,400		433,789,513	425,523,444	經常収支比率	93.3		93.4		
	22年国調(人)		教育長	1	7,600		9,470,306	9,906,671	(1)	(101.1)		(101.2)		
	増減率(%)		議会議長	1	9,400		4,724,505	5,880,170	標準財政規模	257,991,404		259,855,981		
			議会副議長	1	8,200		4,745,801	4,026,501	財政力指数	0.34776		0.34093		
住民基本台帳人口(6)	30.01.01(人)		議会議員	36	7,600		719,300	-1,604,368	公債費負担比率	21.2		21.1		
	うち日本人(人)		区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	積立金	1,999,961	健全化判断比率					
	29.01.01(人)		一般職員	3,957	13,212,423	3,339	繰上償還金	0	実質赤字比率	-		-		
	うち日本人(人)		うち消防職員	-	-	-	積立金取崩し額	4,600,000	連結実質赤字比率	-		-		
	増減率(%)		うち技能労務職員	119	387,226	3,254	実質単年度収支	-1,880,739	実質公債費比率	9.6		10.0		
	うち日本人(%)		警察官	1,726	5,419,640	3,140	基準財政収入額	75,351,761	将来負担比率	112.2		107.1		
面積(km <sup>2</sup> )	2,441		教育公務員	7,353	27,814,209	3,783	基準財政需要額	219,313,599	資金不足比率(4)					
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	341		臨時職員	-	-	-	標準税収入額等	94,334,949						
世帯数(世帯)	302,109		合計	13,036	46,446,272	3,563	經常経費充当一般財源等	242,561,200						
			ラスバイレス指数	100.7			歳入一般財源等	300,665,376						
							地方債現在高	704,014,445						
							うちの積立金	278,444,971						
							債務負担行為額(支出予定額)	38,331,973						
							収益事業収入	1,991,871						
							定額運用基金	18,796,874						
							土地開発基金	14,681,300						
							積立金現在高	14,857,608						
							財政調整基金	17,457,647						
							減債基金	7,506,663						
							その他特定目的基金	28,385,261						
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧									
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名				(3)	
(1)	一般会計		(11) 佐賀県工業用水道事業会計		(12) 佐賀県港湾整備事業特別会計		(14) 佐賀県国際交流協会							
(2)	災害救助基金特別会計				(13) 佐賀県産業用地造成事業特別会計		(15) 佐賀県女性と生涯学習財団							
(3)	母子父子寡婦福祉資金特別会計						(16) 佐賀県地域福祉振興基金							
(4)	就農支援資金特別会計						(17) 佐賀県長寿社会振興財団							
(5)	小規模企業者等設備導入等事業支援特別会計						(18) 佐賀県農器バンク							
(6)	財政調整積立金特別会計						(19) 佐賀県食鳥肉衛生協会							
(7)	証紙特別会計						(20) 佐賀県芸術文化協会							
(8)	土地取得特別会計						(21) 佐賀県地域産業支援センター							
(9)	林業改善資金特別会計						(22) 佐賀県農産公社							
(10)	沿岸漁業改善資金特別会計						(23) 佐賀県森林整備担い手育成基金							

(注釈) 1: 經常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に印を付与している。  
 4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 5: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 6: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 7: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況(都道府県)

歳入の状況(単位 千円・%)					道府県税の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	100,802,437	22.7	81,711,631	34.0	普通税	100,689,991	99.9	627,459	
地方譲与税	13,416,997	3.0	13,416,997	5.6	法定普通税	98,924,327	98.1	627,459	
地方揮発油譲与税	1,478,331	0.3	1,478,331	0.6	道府県民税	27,556,321	27.3	627,459	
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	801,475	0.8	198,428	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	22,349,242	22.2	-	
石油ガス譲与税	77,618	0.0	77,618	0.0	法人均等割	985,691	1.0	47,059	
航空機燃料譲与税	24,603	0.0	24,603	0.0	法人税割	2,102,931	2.1	381,972	
地方法人特別譲与税	11,836,445	2.7	11,836,445	4.9	利子割	324,902	0.3	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	491,981	0.5	-	
地方特例交付金	299,939	0.1	299,939	0.1	株式等譲渡所得割	500,099	0.5	-	
地方交付税	146,544,569	33.1	143,674,446	59.9	事業税	17,975,945	17.8	-	
普通交付税	143,674,446	32.4	143,674,446	59.9	個人分	909,850	0.9	-	
特別交付税	2,859,666	0.6	-	-	法人分	17,066,095	16.9	-	
震災復興特別交付税	10,457	0.0	-	-	地方消費税	29,844,574	29.6	-	
(一般財源計)	261,063,942	58.9	239,103,013	99.6	不動産取得税	1,737,718	1.7	-	
交通安全対策特別交付金	416,491	0.1	416,491	0.2	道府県たばこ税	1,004,318	1.0	-	
分担金・負担金	2,402,295	0.5	-	-	ゴルフ場利用税	284,978	0.3	-	
使用料	4,814,725	1.1	370,651	0.2	自動車取得税	1,063,958	1.1	-	
手数料	1,549,999	0.3	5	0.0	軽油引取税	9,206,507	9.1	-	
国庫支出金	61,169,973	13.8	-	-	自動車税	10,249,777	10.2	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	鉱区税	231	0.0	-	
財産収入	964,122	0.2	36,567	0.0	固定資産税特例	-	-	-	
寄附金	676,489	0.2	-	-	法定外普通税	1,765,664	1.8	-	
繰入金	13,318,587	3.0	-	-	目的税	112,146	0.1	-	
繰越金	9,906,671	2.2	-	-	法定目的税	9,595	0.0	-	
諸収入	31,861,823	7.2	62,851	0.0	狩猟税	9,595	0.0	-	
地方債	55,114,702	12.4	-	-	法定外目的税	102,551	0.1	-	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	旧法による税	300	0.0	-	
うち臨時財政対策債	19,982,000	4.5	-	-	合計	100,802,437	100.0	627,459	
歳入合計	443,259,819	100.0	239,989,578	100.0					

歳出の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,022,475	0.2	8,687	1,022,475
総務費	28,397,601	6.5	6,939,448	20,968,346
民生費	66,525,331	15.3	2,373,472	55,827,917
衛生費	14,159,174	3.3	2,236,069	9,518,967
労働費	1,347,943	0.3	39,246	742,415
農林水産業費	34,037,689	7.8	23,297,728	12,978,442
商工費	32,614,793	7.5	1,700,239	8,455,524
土木費	53,980,116	12.4	47,340,049	12,073,604
警察費	20,857,375	4.8	1,291,370	18,855,638
消防費	-	-	-	-
教育費	97,438,987	22.5	4,212,395	72,477,709
災害復旧費	924,289	0.2	-	20,939
公債費	65,888,608	15.2	-	63,861,854
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	188,931	0.0	-	188,931
配当割交付金	292,766	0.1	-	292,766
株式等譲渡所得割交付金	296,991	0.1	-	296,991
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	14,886,585	3.4	-	14,886,585
ゴルフ場利用税交付金	202,044	0.0	-	202,044
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	727,815	0.2	-	727,815
軽油引取税交付金	-	-	-	-
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	433,789,513	100.0	89,438,703	293,398,962

性質別歳出の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	199,720,290	46.0	174,056,916	171,975,592	66.2
人件費	123,081,457	28.4	104,354,790	102,273,466	39.3
うち職員給	89,280,503	20.6	73,718,270	73,718,270	28.4
扶助費	10,751,727	2.5	5,841,774	5,841,774	2.2
公債費	65,887,106	15.2	63,860,352	63,860,352	24.6
元利償還金	65,886,523	15.2	63,859,769	63,859,769	24.6
内 うち元金	61,796,486	14.2	59,980,300	59,980,300	23.1
うち利子	4,090,037	0.9	3,879,469	3,879,469	1.5
一時借入金利子	583	0.0	583	583	0.0
その他の経費	143,706,231	33.1	100,750,646	70,585,608	27.2
物件費	17,701,076	4.1	13,211,443	9,664,877	3.7
維持補修費	1,840,326	0.4	1,011,188	1,007,322	0.4
補助費等	89,147,439	20.6	81,217,050	59,901,906	23.0
繰入金	129,887	0.0	109,919	-	-
積立金	8,285,973	1.9	5,154,041	-	-
投資及び出資金	-	-	-	-	-
貸付金	26,601,530	6.1	47,005	11,503	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	90,362,992	20.8	18,591,400	-	-
うち人件費	1,188,179	0.3	227,350	-	-
普通建設事業費	89,438,703	20.6	18,570,461	-	-
うち補助	49,252,611	11.4	1,494,042	-	-
うち単独	32,981,386	7.6	15,499,639	-	-
災害復旧事業費	924,289	0.2	20,939	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	433,789,513	100.0	293,398,962	-	-

区分		平成29年度		平成28年度	
徴収率 (%)	現年計	99.2	98.7	99.4	98.8
	合計	99.1	97.5	99.0	97.1
	道府県民税 事業税	99.8	99.7	99.9	99.7

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成28年度 佐賀県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実収収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	453,559	445,439	8,120	4,674	13,433	686,093	
2 災害救助基金特別会計	22	22	-	-	22	-	
3 母子父子寡婦福祉資金特別会計	335	154	181	-	8	149	
4 就業支援基金特別会計	137	41	95	-	1	219	
5 小規模企業等設備導入等事業支援特別会計	290	169	121	-	13	4,215	
6 財政調整積立金特別会計	6,600	6,600	-	-	6,577	-	
7 証紙特別会計	2,984	2,913	71	71	-	-	
8 土地取得特別会計	14	14	-	-	-	-	
9 林業改善資金特別会計	147	1	146	-	0	-	
10 沿岸漁業改善資金特別会計	610	111	498	-	0	-	
11 公債管理特別会計	92,107	92,107	-	-	64,083	-	
12 貴賓資金特別会計	987	750	238	-	-	-	
13 地方自治行政法人及び関係機関等から受ける補助金等特別会計	2,284	2,284	-	-	-	14,153	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							

### (3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度 佐賀県

人口	833,272	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	827,606	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,440.68	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.6	%
歳入総額	443,259,819	千円	将来負担比率	112.2	%
歳出総額	433,789,513	千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実質収支	4,745,801	千円	(年度毎)	H28 D H29 D	
標準財政規模	257,991,404	千円			
地方債現在高	704,014,445	千円			

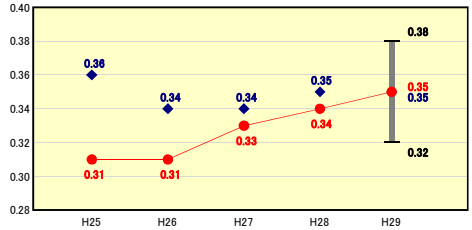
● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕  
※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
※ 「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。  
※ 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

#### 財政力

財政力指数 **[0.35]**

グループ内順位 4/12 都道府県平均 0.52

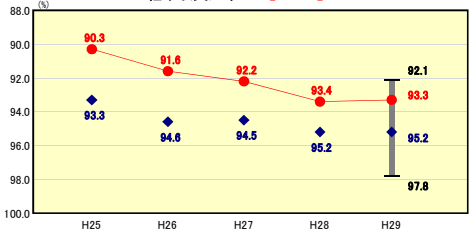


**財政力指数の分析欄**  
財政力指数は0.01ポイント増加し、グループ内平均の0.35となったものの、外的要因である算定方法の見直しに伴う基準財政需要額の減少が主な要因である。  
今後、社会保障関係費の増高や、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた施設整備等の大型事業の実施により、基準財政需要額の増が見込まれるため、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 **[93.3%]**

グループ内順位 5/12 都道府県平均 94.2

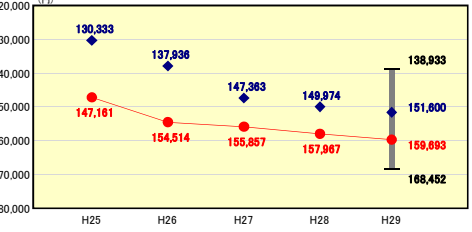


**経常収支比率の分析欄**  
経常収支比率は、都道府県平均、グループ内平均に比べると良好な数字であり、H29年度は、県税、地方譲与税等が微増したことにより、昨年より0.1ポイント改善した。  
しかしながら、H25年度と比べると3.0%の開きがあり、今後も子ども・子育て支援の充実や医療・介護サービス保障の強化等により社会保障関係経費が増加することや、公債費が引き続き高い水準で推移することが見込まれ、財政構造の硬直化が懸念されることから、「佐賀県行財政運営計画2019」(H31.3月策定)に基づき、財政健全化を図っていく。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 **[159,693円]**

グループ内順位 9/12 都道府県平均 108,902

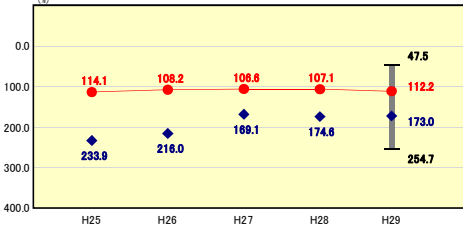


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
H23年度から155,000円前後で推移しており、グループ内平均と比較して高い水準となっているが、これは類似団体比較で人口10万人当たり職員数が多いことが主な要因である。  
引き続き、「佐賀県行財政運営計画2019」の取組にもある総人件費の適切な管理に基づき、効率的かつ機動的な人員配置により、限られた経営資源の効率的な活用を図り、職員給与等においては、国や他県の状況、社会情勢を踏まえ、必要に応じて適切な見直しを行う。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 **[112.2%]**

グループ内順位 2/12 都道府県平均 173.1

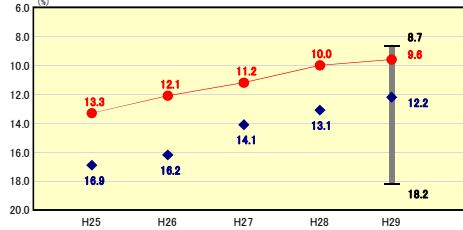


**将来負担比率の分析欄**  
将来負担比率は、都道府県平均、グループ内平均を下回っている状況にある。  
H29年度が5.1ポイント上昇した主な要因は、地方債残高等に係る交付税措置見込額をはじめとする充当可能財源の減少である。  
今後も、これまで同様、地方交付税により後年度に財源措置のある地方債を活用すること等により、県がコントロールできる県債残高を安定的に低下させるなど、将来の健全な財政構造を見据えた財政運営を行っていく。

#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 **[9.6%]**

グループ内順位 3/12 都道府県平均 11.4

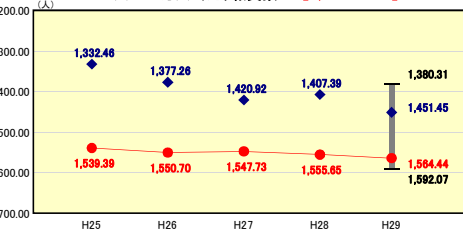


**実質公債費比率の分析欄**  
実質公債費比率は、都道府県平均、グループ内平均を下回っている状況にある。  
H29年度が0.4ポイント改善した主な要因は、国営土地改良事業負担金等の減少による公債費に準ずる債務負担行為等の減少である。  
今後も、将来の県債残高の動向に留意しながら、借換債を前提として償還期間の長期化等、公債費負担の平準化を図るとともに、地方交付税により後年度に財源措置のある地方債を活用することにより、実質公債費比率の上昇を抑えていく。

#### 定員管理の状況

人口10万人当たり職員数 **[1,564.44人]**

グループ内順位 11/12 都道府県平均 1,024.80

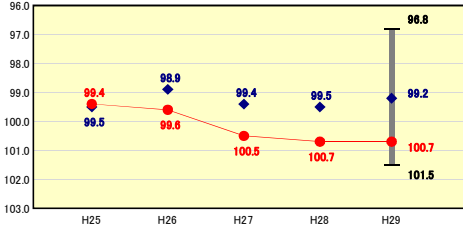


**人口10万人当たり職員数の分析欄**  
「行財政改革緊急プログラムVer2.1」により、知事部局一般会計職員については、平成16年4月1日を基準とし、平成23年4月1日までに純減数500名、純減率14.2%を目標に取り組み、純減数522名、純減率14.8%と目標を上回る成果が出たところである。  
ただし、同一グループの他団体に対して人口規模が小さく、人口10万人当たり職員数は相対的に高くなる傾向にあり、グループ内平均より多くなっている。  
このため、平成23年10月に策定した「佐賀県行財政運営計画2011」では、これまでのように数値目標を掲げたものとはせず、適正な定員管理や給与管理などにより総人件費の増減の抑制に努めることとした。また、平成27年7月に策定した「佐賀県行財政運営計画2015」では、効率的で機動的な人員配置により、限られた経営資源の効率的な活用を図ってきたが、「佐賀県行財政運営計画2019」においても、同様の取り組みを継続していく。

#### 給与水準(国との比較)

ラスパイレズ指数 **[100.7]**

グループ内順位 10/12 都道府県平均 100.2



**ラスパイレズ指数の分析欄**  
ラスパイレズ指数は、前年度とほぼ横ばいとなっている。(※)  
平成27年度の給与制度の総合の見直し以降、国家公務員は公民較差を、主に手当を引き上げることにより解消し、県職員は給料を引き上げて解消することとしたため、給料のみを比較するラスパイレズ指数が高止まりしている。  
※当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において、平成30年地方公務員給与実態調査の調査結果が未公表であるため、ラスパイレズ指数は、前年度の数値を引用している。

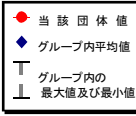
# (4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

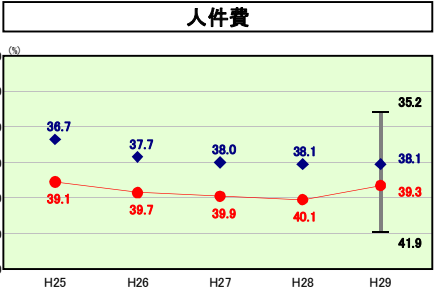
佐賀県

## 経常収支比率の分析

人口	833,272	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	827,606	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	2,440.68	k㎡	実質公債費比率	9.6	%	
歳入総額	443,259,819	千円	将来負担比率	112.2	%	
歳出総額	433,789,513	千円				
実質収支	4,745,801	千円	グループ	H25 D	H26 D	H27 D
標準財政規模	257,991,404	千円	(年度毎)	H28 D	H29 D	
地方債現在高	704,014,445	千円				

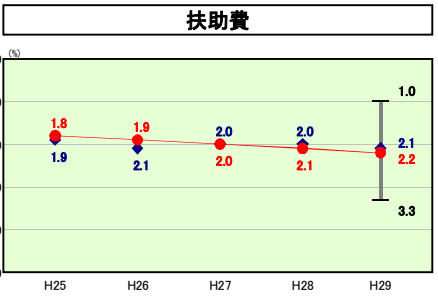


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1,000以上、Bグループ 0.500以上1,000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に搭載されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



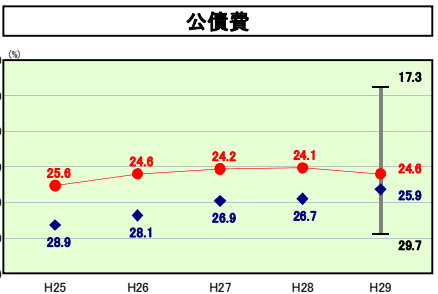
### 人件費の分析

H28年度までは増加傾向にあったものの、H29年度は時間外勤務手当等の減や退職手当基金の充当による一般財源の減により、0.8ポイント改善した。  
 グループ内平均に比べ高い割合で推移しているため、引き続き、総人件費の適切な管理に基づき、効率的で機能的な人員配置により、限られた経営資源の効率的な活用を図り、職員給与等においては、国や他県の状況、社会情勢を踏まえ、必要に応じて適切な見直しを行っていく。



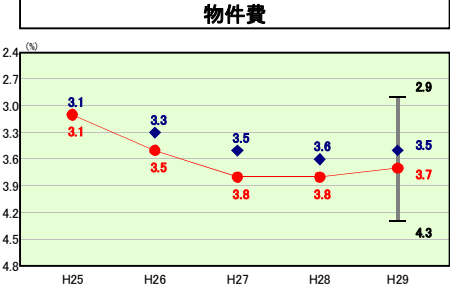
### 扶助費の分析

H25年度までは、社会保障関係経費の減少により改善傾向にあったものの、近年は対象施設の増加に伴う障害児通所給付費や精神保健医療費、児童保護措置費(養護)などの増により、対前年比0.1ポイントずつ増加している。  
 グループ内平均とほぼ同じ割合であるが、今後も社会保障関係経費の増加が見込まれることから、その動向に注視していく。



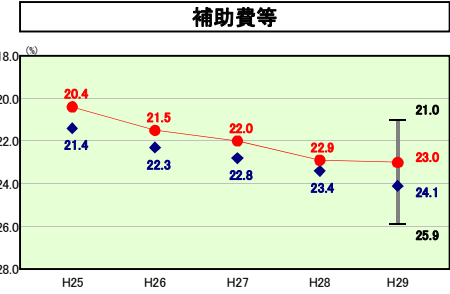
### 公債費の分析

借換債の活用による公債費の平準化などの取組により、年々改善傾向にあるが、経済対策等に係るH25年度借入分の償還開始に伴い、H29年度は対前年比+0.5ポイントとなった。  
 グループ内平均と比較しても低い割合となっているものの、臨時財政対策債の元利償還額は年々増加しているため、引き続き、県債残高やプライマリーバランスに留意しながら、県債の有効活用と公債費の平準化に取り組んでいく。



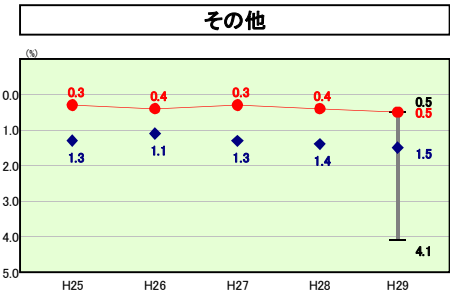
### 物件費の分析

H23年度以降、ICT関係経費などの増加に伴い増加傾向にあったものの、H29年度はICT関係経費や施設の管理運営経費の減少に伴い、0.1ポイント改善している。  
 しかしながら、都道府県平均、グループ内平均に比べ割合が多くなっており、事業の選択と集中や効果的な事業執行、事業の見直しを行うことで、財政健全化を図っていく必要がある。



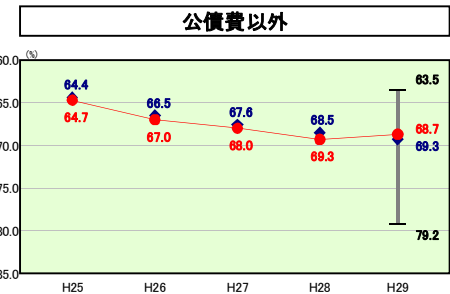
### 補助費等の分析

H23年度以降、社会保障関係経費の負担金の増加等の原因により歳出の決算額も上昇傾向にあり、毎年度増加が続いている。H29年度についても、保育所や認定こども園の運営費に係る施設型給付費県負担金や障害者自立支援給付費県負担金、介護給付費負担金の増などにより、対前年比0.1ポイントの増加となっている。  
 今後も社会保障関係経費の増加が見込まれるため、社会保障の充実には適切に対応しつつ、補助金等の重点化や見直しを行うことで、財政健全化に努めていく。



### その他の分析

維持補修費などその他の経常経費については、都道府県平均やグループ内平均よりも低い割合となっている。また、H23年度以降ほぼ横ばいとなっている。  
 引き続き、H27年度に策定した「佐賀県ファミリーマネジメント基本方針」に基づき、県有施設の長寿命化を図り、適切な維持管理などに努めていく。



### 公債費以外の分析

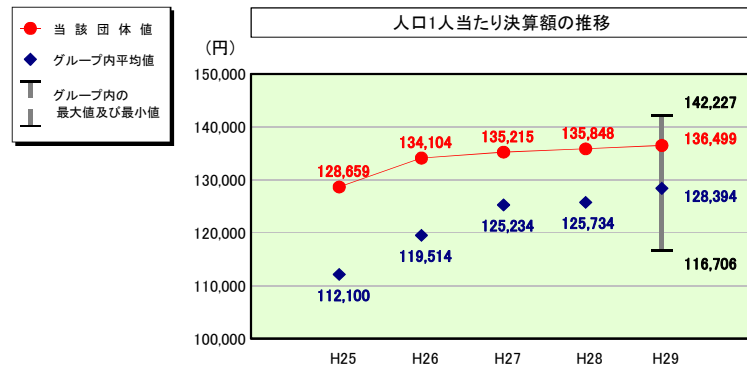
H29年度は、退職手当基金の充当に伴う人件費に係る一般財源の減等により、対前年比0.6ポイント減少した。  
 都道府県平均、グループ内平均ともに低い割合となっており、引き続き、「佐賀県行財政運営計画2019」に基づき、財政健全化に努めていく。

# (4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

佐賀県

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

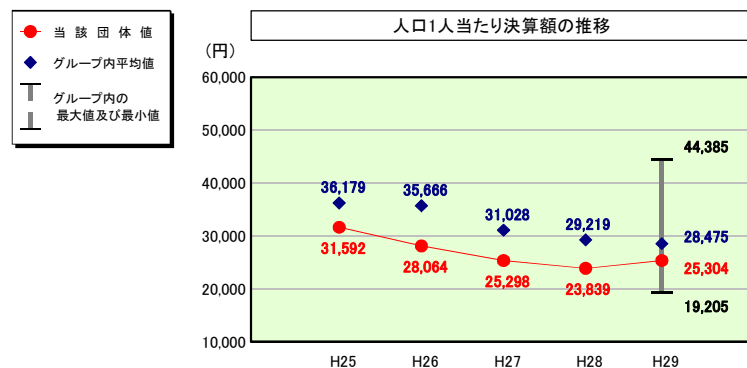
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
人件費	123,081,457	147,709	136,377	8.3
賃金(物件費)	214,462	257	382	32.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	819	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	7	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,188,179	1,426	2,428	41.3
退職金	10,743,241	12,893	11,619	11.0
合計	113,740,857	136,499	128,394	6.3

## 参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,564.44	1,451.45	112.99
ラスパイレス指数	100.7	99.2	1.5

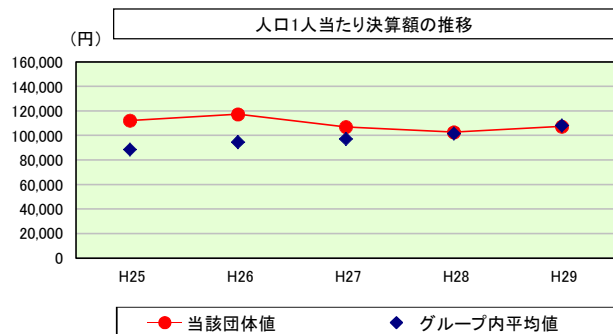
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	65,337,797	78,411	76,176	2.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	1,333,333	1,600	3,943	59.4
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	-	1,855	-
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	162	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,507,300	1,809	954	89.6
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	583	1	2	50.0
特定財源の額	1,207,242	1,449	2,895	49.9
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	45,886,572	55,068	51,722	6.5
合計	21,085,199	25,304	28,475	11.1

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	95,635,508	112,211	12.4	88,620	12.5	0.1
うち単独分	33,155,752	38,902	2.5	19,309	3.3	5.8
H26	99,378,781	117,272	4.5	94,715	6.9	2.4
うち単独分	40,783,565	48,127	23.7	24,902	29.0	5.3
H27	90,123,967	106,978	8.8	97,161	2.6	11.4
うち単独分	34,028,269	40,392	16.1	26,543	6.6	22.7
H28	86,029,051	102,663	4.0	101,731	4.7	8.7
うち単独分	30,700,988	36,637	9.3	26,906	1.4	10.7
H29	89,438,703	107,334	4.5	108,224	6.4	1.9
うち単独分	32,981,386	39,581	8.0	27,358	1.7	6.3
過去5年間平均	92,121,202	109,292	1.7	98,090	6.6	4.9
うち単独分	34,329,992	40,728	1.8	25,004	7.1	5.3



# (5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

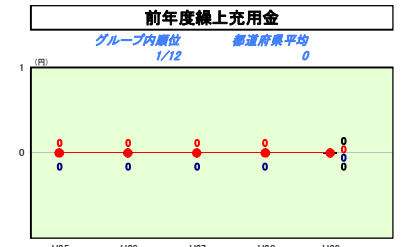
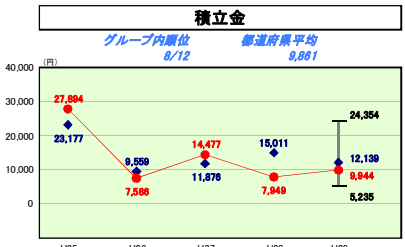
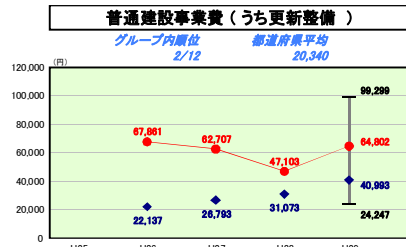
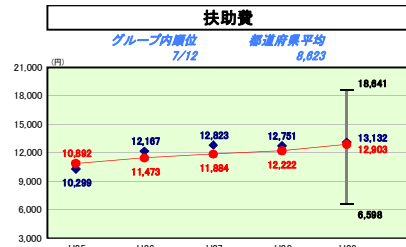
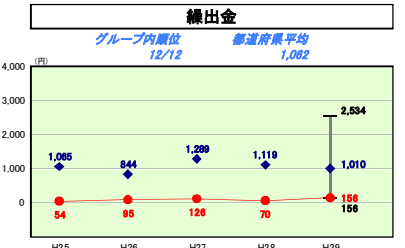
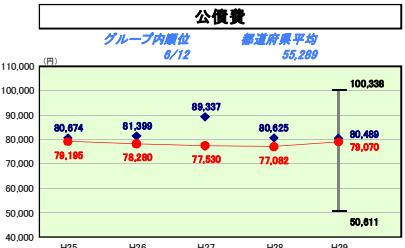
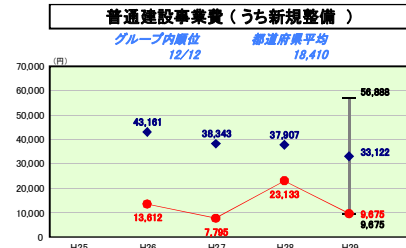
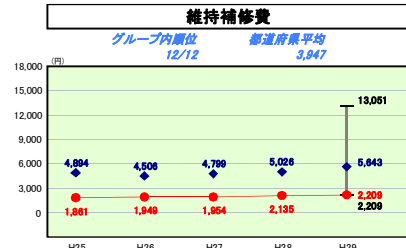
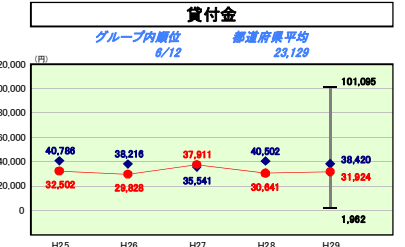
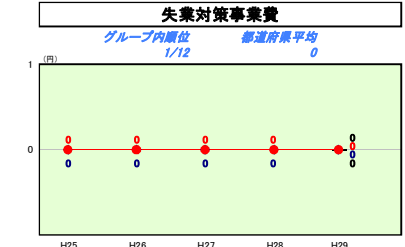
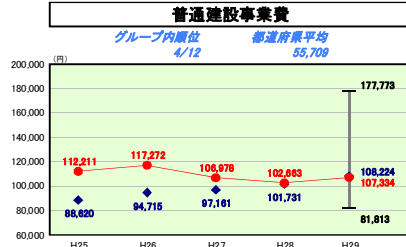
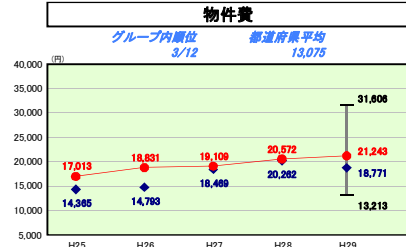
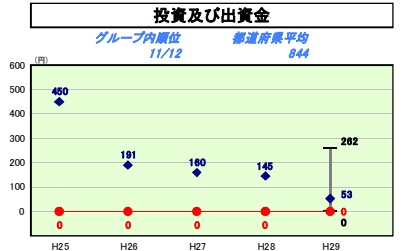
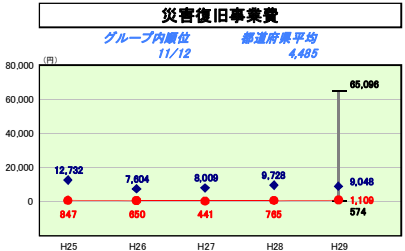
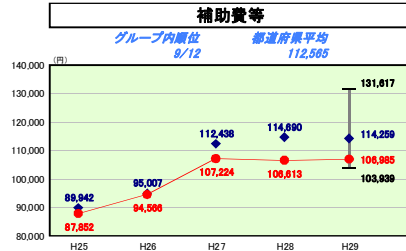
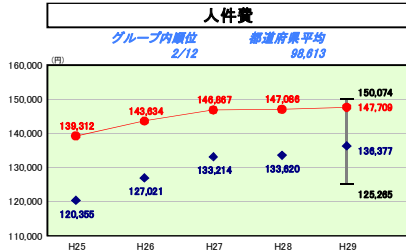
平成29年度

佐賀県

人口	833,272人(180.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	827,606人(180.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,440.98km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.6	%
歳入総額	443,259,819千円	将来負担比率	112.2	%
歳出総額	439,789,513千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実収支	4,745,801千円	(年度毎)	H25 D H26 D H29 D	
標準財政規模	257,981,404千円			
地方債現在高	704,014,445千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分けたものである。  
 [ Aグループ 1000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析圖**  
 ・歳出決算の総額は、住民一人当たり520,586円となっている。主な構成項目である人件費は、住民一人当たり147,709円となっており、平成25年度から145,000円前後で推移している(平成25年度は国の要請を踏まえて実施した減額措置のため、他の年度と比較して少額となっているもの。)グループ内平均と比較して高い水準となっているが、これは類似団体と比較して人口10万人当たり職員数が多いことが主な要因である。  
 ・普通建設事業費については、以前はグループ内平均に比べ高い水準だったが、「佐賀県行財政運営計画2015」等により投資的経費の総額を段階的に抑制しつつ、計画的な事業執行を図ってきたことから、近年はグループ内平均と同程度の水準となっている。また、新規整備と更新整備においてグループ内の乖離が生じているのは、新規公共施設等を整備するための経費を絞って選別していることが主な要因である。

# (6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

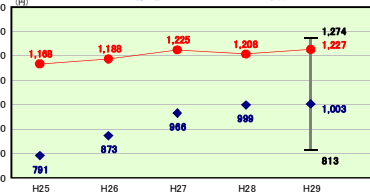
佐賀県

人口	833,272人(180.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	827,606人(180.1.1現在)	経営赤字比率	-	%
面積	2,440.98km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.6	%
歳入総額	443,259,819千円	将来負担比率	112.2	%
歳出総額	439,789,513千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実質収支	4,745,801千円	(年度毎)	H28 D H29 D	
標準財政規模	257,991,404千円			
地方債現在高	704,014,445千円			

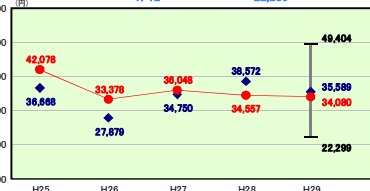


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

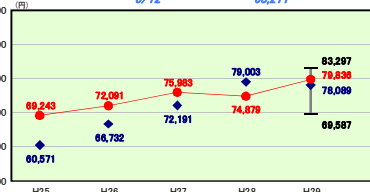
**議会費**  
 グループ内順位 2/12 都道府県平均 807



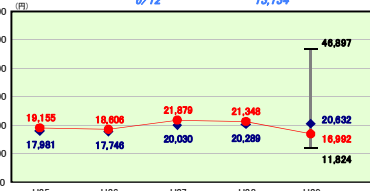
**総務費**  
 グループ内順位 7/12 都道府県平均 22,239



**民生費**  
 グループ内順位 5/12 都道府県平均 63,211



**衛生費**  
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 13,134

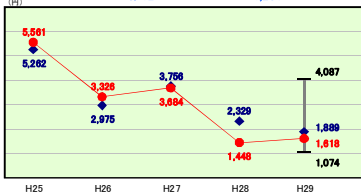


**目的別歳出の分析**

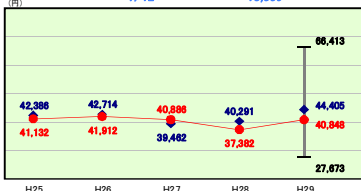
- ・警察費は住民一人当たり25,031円となっており、平成17年度からの県内警察署再編整備に係る普通建設事業費の増嵩によりグループ内平均と比べ高い水準にあるものの、事業の進捗に伴い減少傾向にある。
- ・議会費は住民一人当たり1,227円となっており、類似団体と比較して一人当たりのコストが高い状態が続いているのは、類似団体と比較して住民一人当たりの議員定数が多いことが主な要因である。
- ・衛生費は住民一人当たり16,992円であり、グループ内平均に比べ低い水準となっているのは、医療提供の拠点となる病院の移転に伴う補助事業の完了等により、普通建設事業費が減少したことが主な要因である。
- ・教育費は、住民一人当たり116,935円となっており、グループ内平均に比べ高止まりしているのは、ICT教育に係る経費(物件費、普通建設事業費など)が他団体と比べ大きいことが主な要因と考えられる。

また、昨年度に比べて住民一人当たりのコストが上昇している主な要因は、佐賀国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設整備等に係る費用の増加にある。

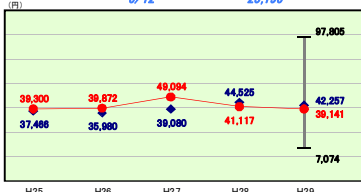
**労働費**  
 グループ内順位 5/12 都道府県平均 1,291



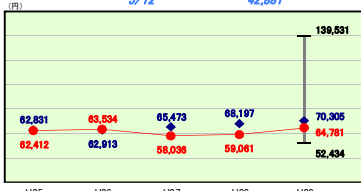
**農林水産業費**  
 グループ内順位 7/12 都道府県平均 16,339



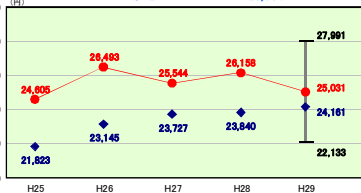
**商工費**  
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 25,196



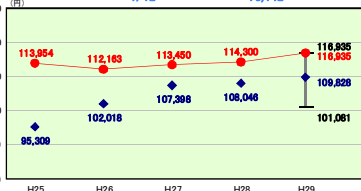
**土木費**  
 グループ内順位 5/12 都道府県平均 42,881



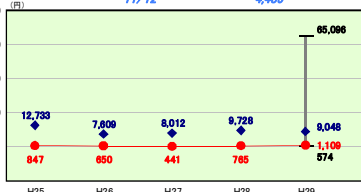
**警察費**  
 グループ内順位 4/12 都道府県平均 25,554



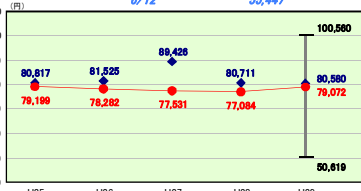
**教育費**  
 グループ内順位 1/12 都道府県平均 76,142



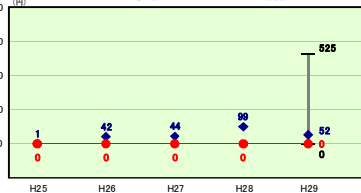
**災害復旧費**  
 グループ内順位 11/12 都道府県平均 4,485



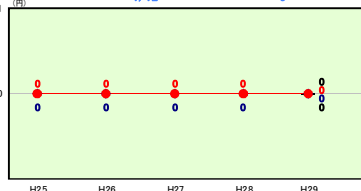
**公債費**  
 グループ内順位 6/12 都道府県平均 55,447



**諸支出金**  
 グループ内順位 4/12 都道府県平均 222



**前年度繰上充用金**  
 グループ内順位 1/12 都道府県平均 0



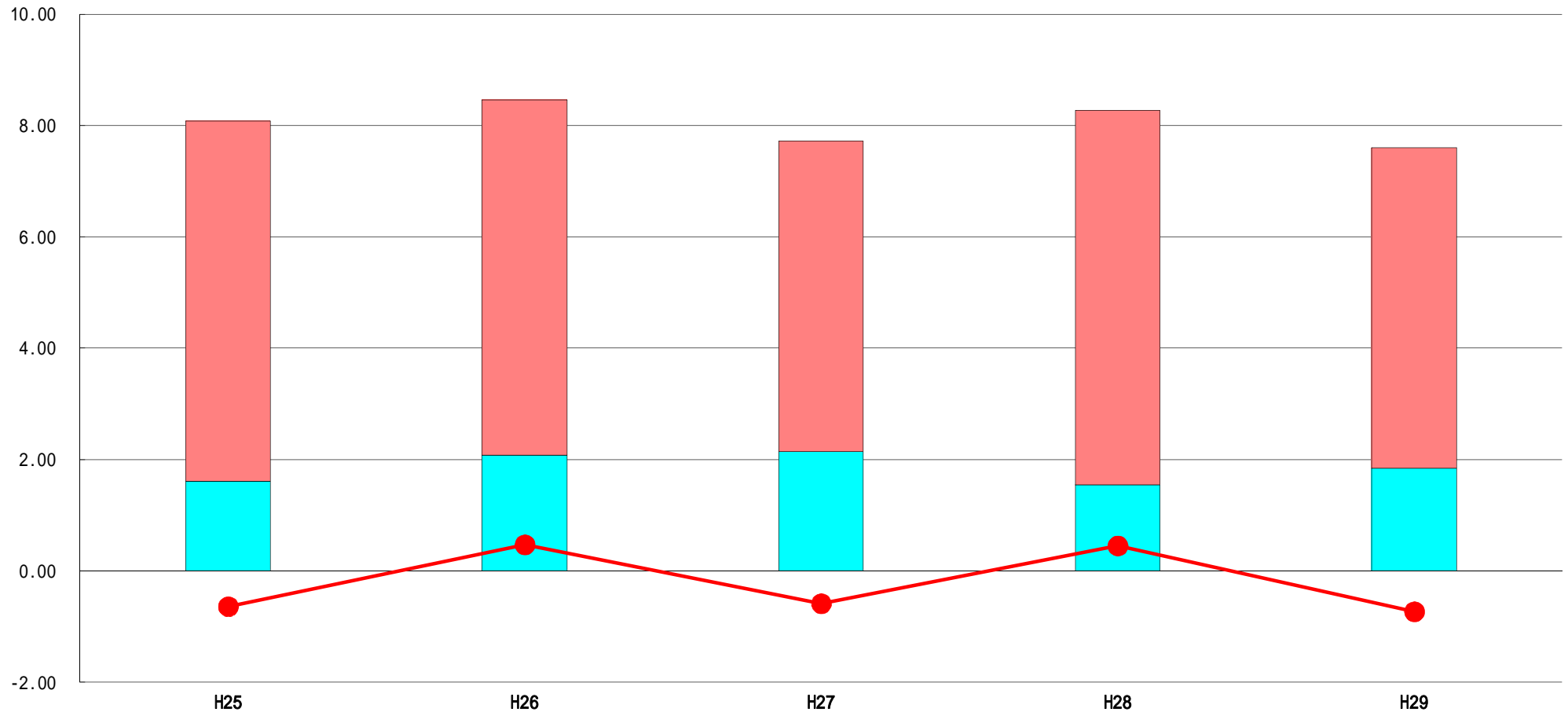


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (都道府県)




平成29年度

佐賀県

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		6.47	6.38	5.58	6.72	5.76
 実質収支額		1.61	2.08	2.14	1.55	1.84
 実質単年度収支		0.64	0.47	0.59	0.45	0.73

## 分析欄

財政調整基金残高は、「佐賀県行財政運営計画2015」の取組方針に基づき、一定額の基金残高の確保に努めており、概ね計画通りの基金残高が確保できる見込みである。なお、H29年度については決算剰余金及び預託の運用益を積み立てた一方で、財政調整による取崩しが生じたため、基金残高は0.96ポイント減少している。

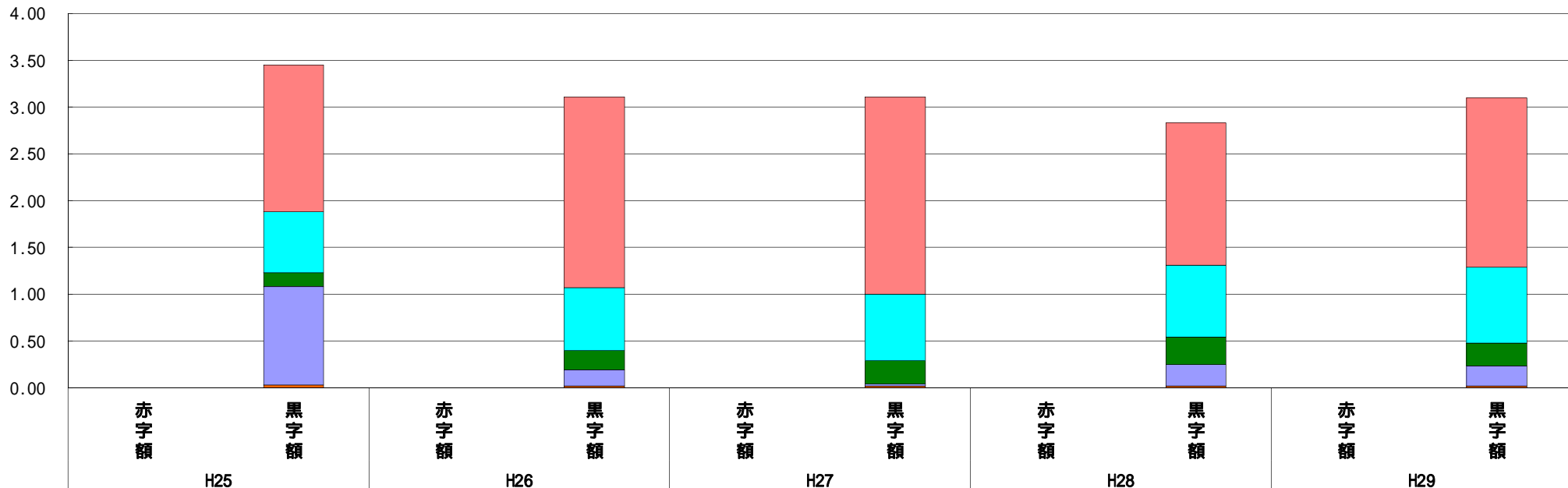
実質収支額は、歳入総額が個人県民税等の増による影響で前年度から増加した一方で、公共事業等繰越による翌年度に繰り越すべき財源が減少したこと等から、前年度比で0.29ポイント増加しており、昭和51年以降、プラスとなっている。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (都道府県)

平成29年度

佐賀県

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計		1.57	2.04	2.11	1.52	1.81
佐賀県工業用水道事業会計		0.65	0.67	0.71	0.77	0.81
佐賀県港湾整備事業特別会計		0.15	0.21	0.25	0.29	0.25
佐賀県産業用地造成事業特別会計		1.05	0.17	0.02	0.23	0.21
証紙特別会計		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
災害救助基金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
母子父子寡婦福祉資金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
就農支援資金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

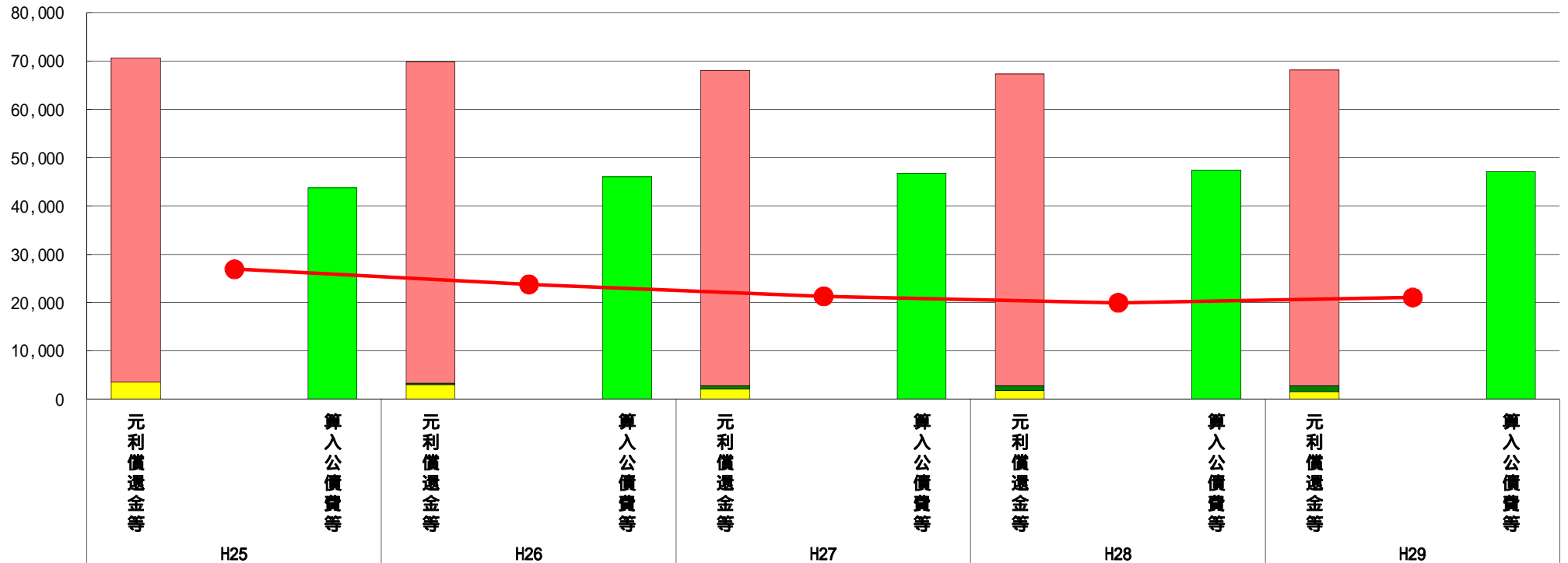
いずれの会計も黒字であり、連結実質赤字比率は発生していない。  
 一般会計の実質収支比率の改善は、分母となる標準財政規模は普通交付税等の減により減少したものの、分子となる実質収支額が個人住民税等の増により増加したことによるもの。  
 一定の財政健全化は確保できているが、「佐賀県行財政運営計画2019」に基づき、引き続き持続可能な財政運営を行っていく。

# (9) 実質公債費比率(分子)の構造(都道府県)

平成29年度

佐賀県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等(A)	元利償還金		67,157	66,499	65,279	64,534	65,338
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		17	333	667	1,000	1,333
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		3,492	2,987	2,108	1,788	1,507
	一時借入金の利子		14	8	9	4	1
算入公債費等(B)	算入公債費等		43,754	46,046	46,749	47,350	47,094
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		26,926	23,781	21,314	19,976	21,085

## 分析欄

元利償還金等が増加し、算入公債費等が減少したことから、実質公債費比率の分子は増加している。

元利償還金等の増加は、主に臨時財政対策債に係る公債費の増加が要因である。

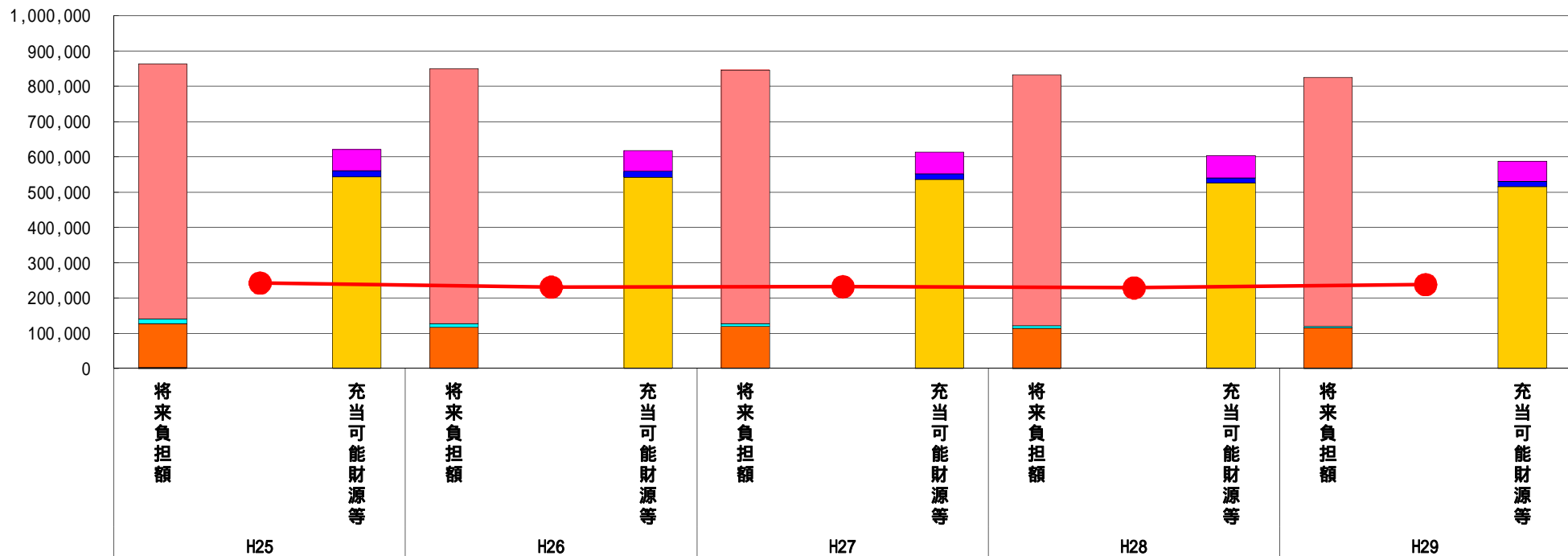
今後も将来の県債残高の動向に留意しながら、借換債を前提として償還期間の長期化等、公債費負担の平準化を図るとともに、後年度に地方交付税による財源措置のある地方債を活用することにより、実質公債費比率の上昇を抑えていく。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

（百万円）

平成29年度

佐賀県



（百万円）

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		723,672	722,305	717,553	711,667	704,829
	債務負担行為に基づく支出予定額		12,987	10,019	7,964	6,183	4,826
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		124,162	115,465	118,202	113,726	114,018
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,380	1,805	1,205	768	766
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		62	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		59,430	59,041	60,804	62,932	56,911
	充当可能特定歳入		18,348	17,075	16,108	15,258	14,769
	基準財政需要額算入見込額		542,872	542,179	536,033	525,119	514,771
(A) - (B)	将来負担比率の分子		242,614	231,300	231,979	229,034	237,987

## 分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高の減少、債務負担行為に基づく支出予定額等の減少などがあるものの、基準財政需要額算入見込額の減少などにより、将来負担比率の分子は増加している。

一般会計等に係る地方債の現在高の減少は、公共事業等債の減少によるものである。

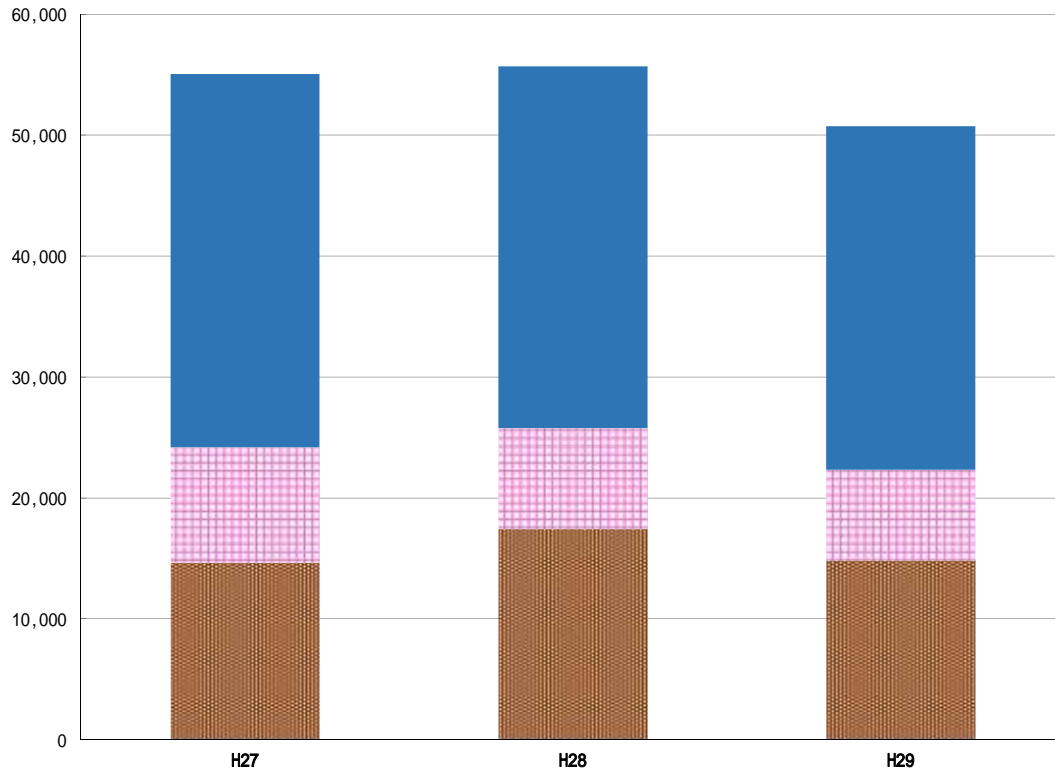
債務負担行為に基づく支出予定額の減少は、国営土地改良事業費負担金等の減少によるものである。

基準財政需要額算入見込額の減少は、主に財源対策債に係る算入見込額の減少によるものである。

今後も後年度に地方交付税による財源措置のある地方債を活用すること等により、県がコントロールできる県債残高を安定的に低下させるなど、将来の健全な財政構造を見据えた財政運営を行っていきことにより、財政健全化を図っていく。

# (11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(都道府県)

(百万円)



(百万円)

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		14,679	17,458	14,858
減債基金		9,525	8,330	7,507
その他特定目的基金		30,859	29,928	28,385
大規模施設整備基金		8,875	8,886	8,896
地域医療介護総合確保基金		1,879	2,077	2,530
文化振興基金		2,834	2,861	2,031
退職手当基金		4,019	4,024	2,028
佐賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金		0	1,000	2,000
基金残高合計		55,063	55,715	50,750

平成29年度

佐賀県

## 基金全体

(増減理由)

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金に10億円を積み立てた一方、収支調整、文化振興に係る事業及び退職手当への充当のため54億円を取り崩したこと等により、基金全体としては50億円の減となった。

(今後の方針)

特定目的基金の規模の適正化を図り、戦略的に活用する。また、「佐賀県行財政運営計画2019」において、平成34年度末の財源調整用基金残高を約130億円(標準財政規模の5%程度)確保する目標としている。

## 財政調整基金

(増減理由)

収支調整のための取崩しにより、26億円の減となった。

(今後の方針)

「佐賀県行財政運営計画2019」において、平成34年度末の財源調整用基金残高を約130億円(標準財政規模の5%程度)確保する目標としている。

## 減債基金

(増減理由)

減収補填債、退職手当債、行政改革推進債の償還により、8億円の減となった。

(今後の方針)

特になし

## その他特定目的基金

(基金の用途)

- ・大規模施設整備基金：県が設置する大規模な公用又は公共用の施設の整備
- ・地域医療介護総合確保基金：地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業の実施
- ・文化振興基金：本県の文化振興のための、学術、芸術又は歴史上価値の高い資料の整備
- ・退職手当基金：佐賀県職員の退職手当の支給に要する経費への充当
- ・佐賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金：第78回国民スポーツ大会及び第23回全国障害者スポーツ大会の円滑な運営

(増減理由)

- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金：新規積立により10億円の増
  - ・地域医療介護総合確保基金：国の交付金(2/3)及び県の一般財源(1/3)の積立により5億円の増
  - ・退職手当基金：退職手当への充当により20億円の減
  - ・国民健康保険広域化等支援基金：市町に対する貸付実施により13億円の減
  - ・文化振興基金：文化振興に係る事業への充当により8億円の減
- 等により、その他特定目的基金全体としては15億円の減となった。

(今後の方針)

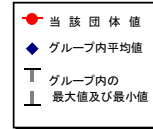
- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営基金：収支の状況を踏まえ、毎年10億円を積立予定
- ・土地開発基金：大型事業等の実施のため、120億円を取崩し予定

# (12) 都道府県公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

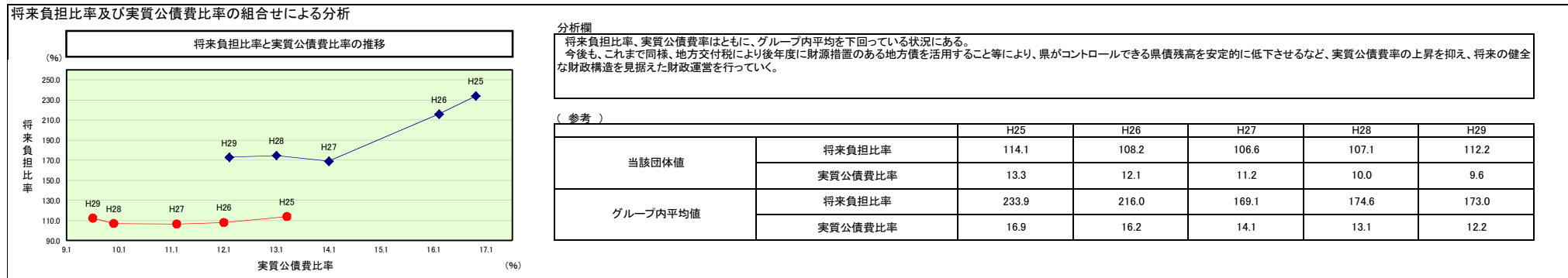
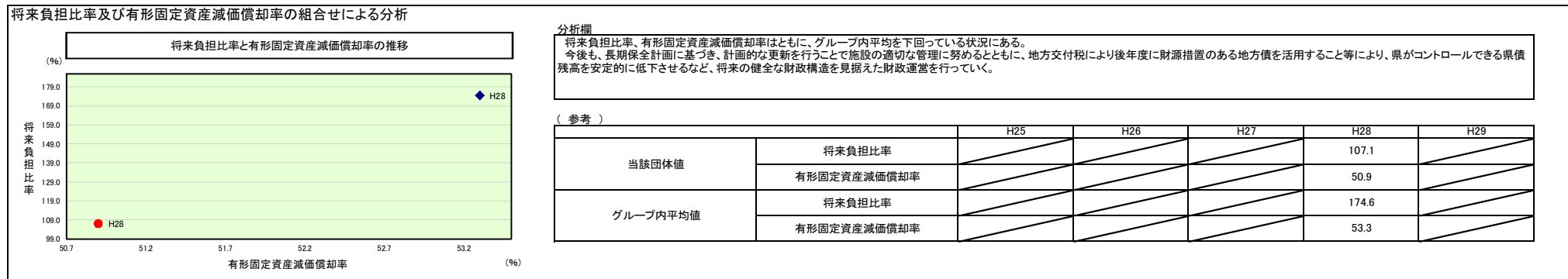
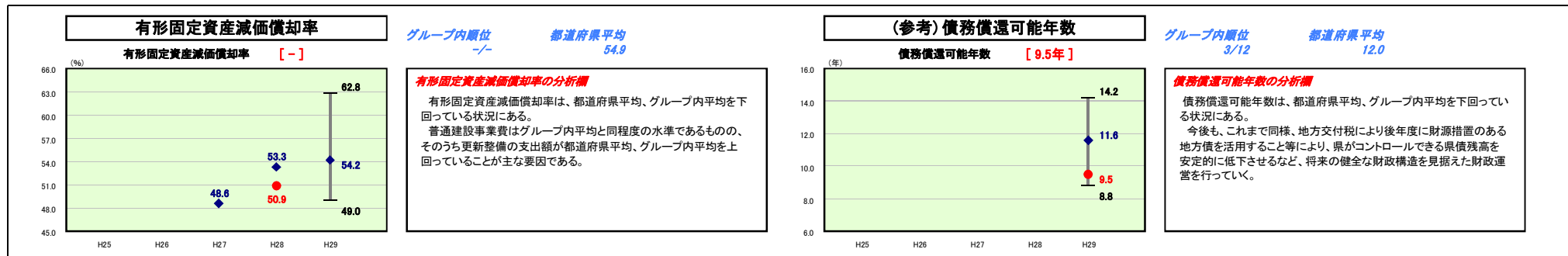
平成29年度

佐賀県

人口	833,272	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	827,606	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,440.68	k㎡	実質公債費比率	9.6	%
歳入総額	443,259,819	千円	将来負担比率	112.2	%
歳出総額	433,789,513	千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実質収支	4,745,801	千円	(年度毎)	H28 D H29 D	
標準財政規模	257,991,404	千円			
地方債現在高	704,014,445	千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



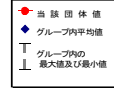


# (13)-1都道府県施設類型別ストック情報分析表①

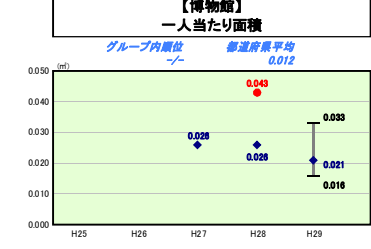
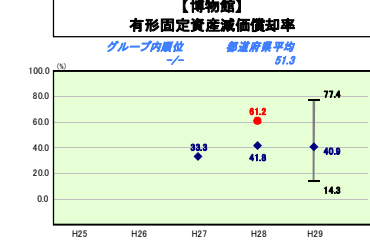
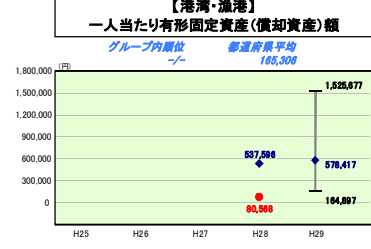
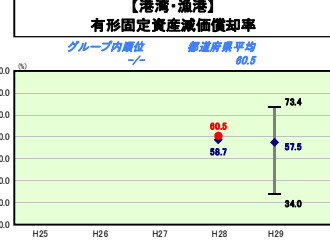
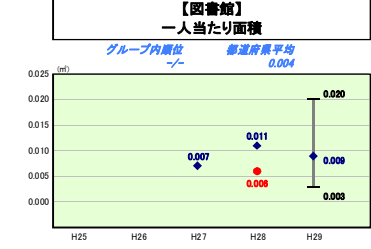
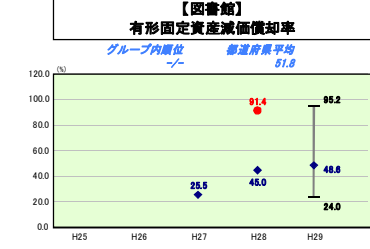
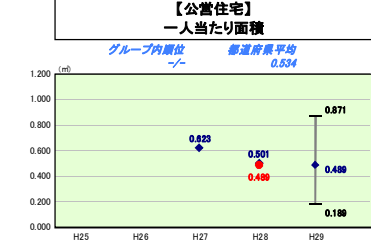
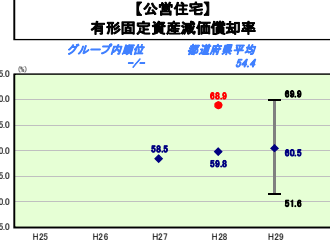
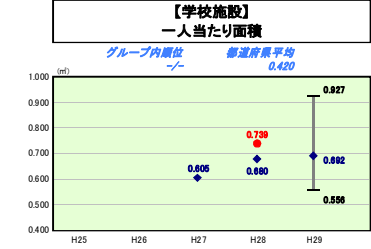
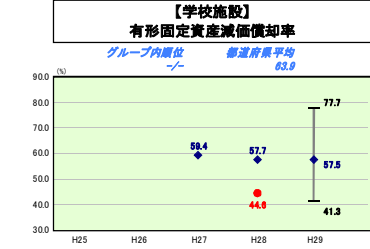
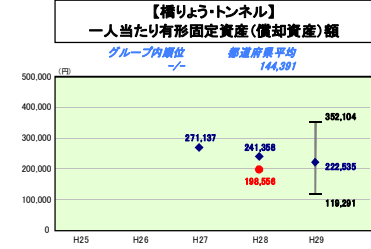
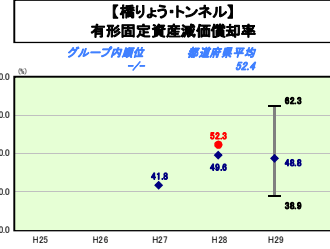
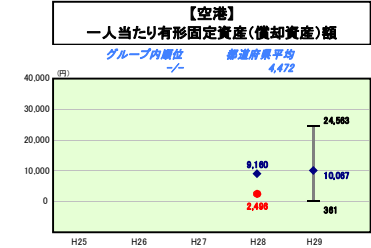
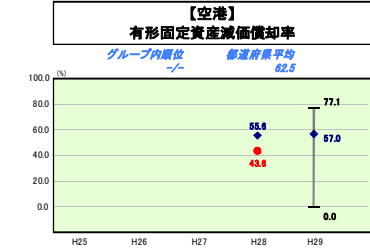
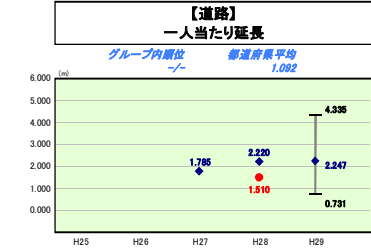
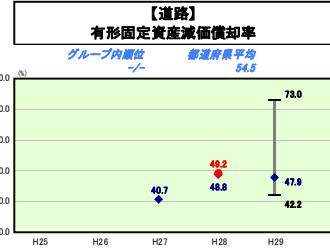
平成29年度

佐賀県

人口	839,272人(※0.14増)	実質赤字比率	-%
うち日本人	827,606人(※0.11増)	通商実赤字比率	-%
面積	2,440.68km <sup>2</sup>	実質公費比率	9.8%
総人口	443,289,819千円	将来負担比率	112.2%
歳出総額	433,789,513千円	グループ	H25 D H26 D H27 D
実収支	4,745,801千円	(年度毎)	H26 D H29 D
標準財政規模	257,991,404千円		
地方債残高	704,014,445千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分けたものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**施設情報の分析値**  
 ・公営住宅や図書館の有形固定資産減価償却率については、都道府県平均、グループ内平均を上回っている状況である。  
 今後、長期保全計画に基づき、計画的な更新を行い、施設の適切な管理に努める。

# (13)-2都道府県施設類型別ストック情報分析表②

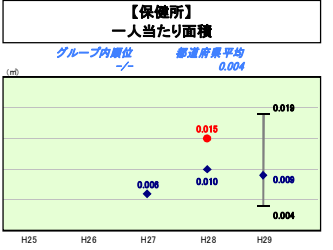
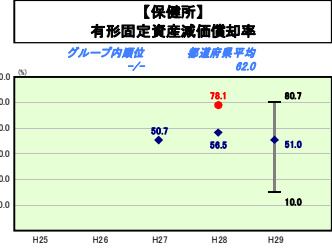
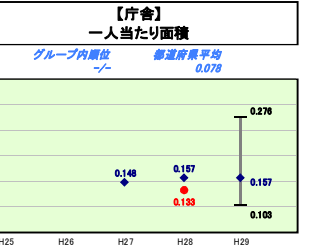
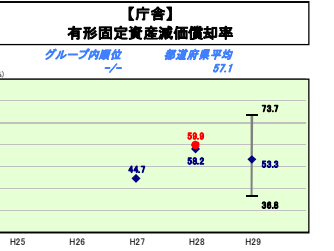
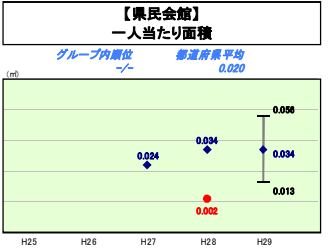
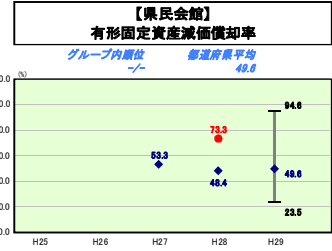
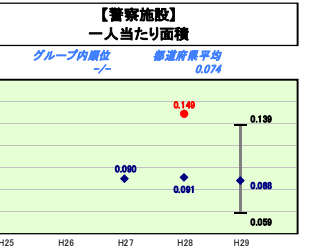
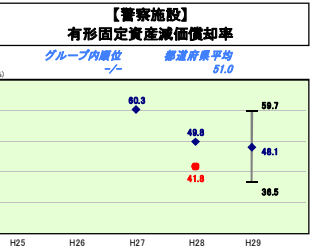
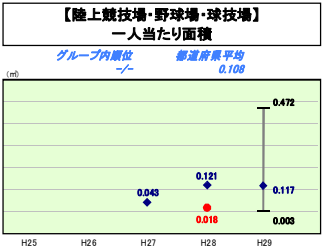
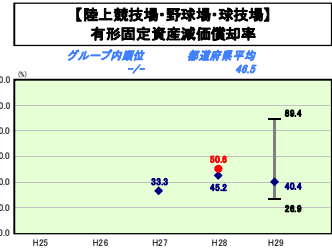
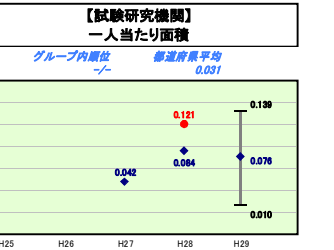
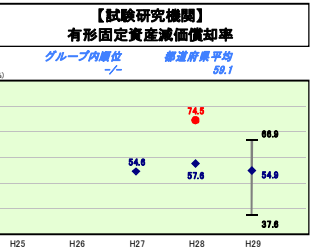
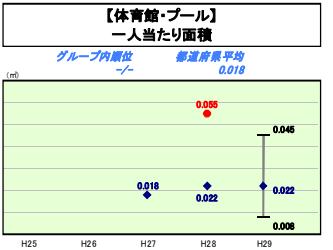
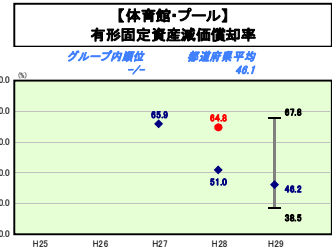
平成29年度

佐賀県

人口	839,272人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	827,606人(H30.1.1現在)	運営費償還率	-%
面積	2,440.68km <sup>2</sup>	実質公費比率	9.8%
総人口	443,289,819千円	将来負担比率	112.2%
歳出総額	433,789,513千円	グループ	H25 D H26 D H27 D
歳入総額	4,745,801千円	(年度毎)	H26 D H28 D H29 D
実質収支	257,991,404千円		
標準財政規模	704,014,445千円		
地方債現在高			

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ┆ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分けたものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**施設情報の分析値**  
 ・体育館・プールや試験研究機関などの有形固定資産減価償却率については、都道府県平均、グループ内平均を上回っている状況である。  
 今後、長期保全計画に基づき、計画的な更新を行い、施設の適切な管理に努める。  
 ・警察施設の有形固定資産減価償却率は、都道府県平均、グループ内平均を下回っている状況にある。  
 これは平成17年度からの県内警察署再編整備を進めてきたことが主な要因である。